

児童注意及び車速を減速させるための立体路面標示を計画しています。

藤間北野歩道橋を自転車を通れるように

問 岸川 現在の進捗状況と今後の対応は。

答 現在の進捗状況は、平成二十二年に修繕工事が実施され、現在は良好な状態に保たれています。今後の対応ですが、自転車による通行を可能にするためには、歩道橋のかけ替えを前提とした計画が必要で、同様な問題を改善した事例を調査研究した上で、川越市に協議を申し出たいと考えていますが、実現の可能性の検討や事業費算出などの準備期間が必要となります。

歩道整備と交通安全対策

問 塚越 大井総合支所周辺の歩道整備と交通安全対策の進展は。

答 地蔵街道カーブ区間の歩道設置は、支所開設にあわせて検討を重ねていきます。ヤマハ協の歩道設置は、用地確保に向けて積極的にお願いし

市民相談室の一層の充実

問 足立 市民相談室の一層の充実を。

答 職員には、相談のスキルと経験の蓄積が必要です。今後は、各部署との調整会議を行うことで、組織的対応にも努めます。

大井総合支所で来夏までにできる業務は

問 塚越 大井総合支所窓口業務の充実を。

答 日常生活において困ったことの相談や地域生活関連業務を拡大していきます。今年十月からは、土地・家屋証明が発行できるようになります。問 高齢者・障がい者・子育て中の母親が本庁まで行かなければならない時の交通の確保は。

答 支所まで来れば、本庁まで行ける交通の確保も図り、交通弱者への利便性を向上していきたいと考えています。

総合体育館建設の市の方針は

問 山田 総合体育館建設用地が広域ごみ処理施設建設用

ていきます。支所前交差点は、右折帯の設置など改良工事を

環境

集い憩える新河岸川の面的整備に向けて

問 小林 新河岸川周辺を自然、文化、スポーツ体験や学習をする場、市民が集い憩える場としての面的整備を。

答 県事業の「川のまるごと再生プロジェクト」に採択されるべく、市として文化ゾーン、スポーツゾーンとしていく案を出しています。地元の方々や各団体、民間の力の活用など、一体となってさらに研究をします。



新河岸川

支所・消防本部工事にあわせて進めていきます。

市民団体運営の田んぼを守れないか

問 鈴木 広域ごみ処理施設建設で、市民団体が運営してきた田んぼがなくなる。救済できないか。

答 田んぼは市民農園のような方法で運営するのは難しいのですが、今回は農家の協力が得られるように、代替地の選定に協力していきます。



田んぼのかえるアート

文化力で地域、人の心を豊かに

問 岸川 人々の心の豊かさや経済・社会の活性化のために「文化・芸術まちづくり条例」の制定を。

答 人間関係が希薄になったと言われる昨今、心の豊かさや求められると考えると、文化団体の関係者の意見をお聞きするなど、制定に向けた取り組みを進めたいと考えます。

魅力が伝わるロケーションサービス

問 小林 ロケーションサービス(※)を通し、まちをもつ



ロケーションサービスで使われた旧大井村役場

緑の基金への寄附を

問 田村 弁天の森の半分は借地。購入のための緑の基金積み立てに寄附の呼びかけを。答 弁天の森は市民の憩いの場となっています。寄附を市のホームページや広報で呼びかけていきます。

大井弁天の森の緑地保存を

問 新井 今後の整備と活用は。

答 桜並木を含めた豊かな自然環境を整備するとともに、環境保全など公園と緑地の機能があるので、用地を取得して保存しなければと考えます。今後、市民と地権者と市の三者の役割分担を明確にして協働事業を推進していきます。

まちづくり

新たな大井総合支所の組織体制は

問 島田 現在の検討内容は。答 組織については総合的な

とPRするのであれば動画配信の検討を。答 より本市をPRする手法として、今後、動画配信を検討していきます。

総合振興計画「後期基本計画」の策定

問 西 今年度、後期基本計画の策定を進めているが、作業の進捗状況と計画の特徴は。答 八月末に原案を審議会に諮問しました。今後、市民との意見交換や原案見直しの結果をパブリックコメントに付する予定です。特徴は、計画評価の視点を取り入れた「成果指標」や「活動指標」を新たに設定したこと。

男女共同参画推進条例の制定を

問 田村 DV被害者救済のためには、各部署の連携が必要である。そのためには男女共同参画推進条例が必要である。制定する考えは。答 男女共同参画基本計画の中で、条例制定について検討することになっています。現在、計画の

のら猫などの去勢・避妊手術に助成を

問 伊藤美 ボランティアで猫の捕獲から病院への搬送、また手術費を負担している方への一部助成を。答 県の補助制度が創設されたので、他市の状況を参考に活用を含め検討していきます。

「脱原発をめざす首長会議」へ加盟を

問 足立 安全な社会実現のため原発をなくすことを目的とした「脱原発をめざす首長会議」に加盟する考えは。答 市民の命を守ることは、行政の信念です。エネルギー政策についての考えは、国・県に対し発言していきたいと考えています。

ふじみん政策支援通貨チケットの発行を

問 田村 ふじみんによる市のアピールと商工振興を兼ね、ふじみん政策支援通貨チケットを発行してはどうか。多くの店舗で利用できるようにし、冠婚葬祭のお返し等にも使用してもらえば定着するのではないかと。また、額面の1%程度を市の政策支援に充てることになれば、地域の活性化にもつながると思うが。答 費用対効果の検証も含めて検討します。



ふじみ野市PR大使「ふじみん」

※ロケーションサービス…ロケ地等の情報提供や公共施設の使用などにより、映画やテレビなどの撮影を支援すること。